

# 認知症事例検討会 開催報告

No. 3

日 時 : 令和元年6月20日(木) 18:00~19:30

場 所 : 北見赤十字病院 北館3階 大会議室

内 容 : 多職種事例検討会

事例テーマ:「徘徊を繰り返す60代アルツハイマー型認知症の事例」

上記内容にて事例検討会を開催致しました。平日にも関わらず、医療・介護・福祉に従事する関係者71名の参加がありました。

事例提供者のしあわせ介護センター ケアマネージャー 三坂綾乃氏より事例の概要説明をしていただき、全10グループでディスカッションを実施しました。



ディスカッションの内容は、「ご本人やご家族に対して、どのような支援をしていけば良いか」「単純にどのようなサービスを使うかということだけではなく、ご本人とご家族へのサポート体制をどう整えていけば良いか」について広い視野と柔軟な発想で支援内容を考えてもらいました。

また、各グループのファシリテーターとして認知症疾患医療連携協議会の担当者会議メンバーに司会進行を担当していただきました。

それぞれの職種の視点による多種多様で具体的な支援内容について意見交換がされており、時間が足りないくらい活発なディスカッションが行われていました。

そして、各グループより支援内容を発表してもらい、全体で共有をすることもできました。

支援者の役割としてご本人やご家族の思いや声に寄り添う大切さを再認識させられたテーマであったと感じます。



終了後のアンケートでは、「他職種の方から多様な意見を聞くことができ参考になった」という意見が多く寄せられており、日々の支援の幅を広げる機会になったように感じます。

今後も年2回の開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

また、認知症疾患医療センターの職員等がサポートをいたしますので、事例提供にもご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

(事務局 垂石記)